

令和 2 年度

日本耳鼻咽喉科学会・関連する学会における
「男女共同参画」に関するアンケート調査

令和 2 年 12 月実施

令和 3 年 6 月発行

日本耳鼻咽喉科学会総務部男女共同参画委員会編

日本耳鼻咽喉科学会総務部男女共同参画委員会

担当理事 阪上 雅史

委員長 小林 一女

委員 松延 毅

丸山 裕美子

森田 由香

目 次

I. 令和2年度日本耳鼻咽喉科学会・関連する学会における「男女共同参画」に関するアンケート調査結果の解説	4
II. 調査結果	
1. 日本耳鼻咽喉科学会と関連する学会の医師会員数, 女性医師比率の推移	7
2. 日本耳鼻咽喉科学会と関連する学会における役員数と女性比率	8
3. 役員選出に関する、クォータ制（割当制）等の女性医師登用へのポジティブアクションの有無	9
4. 学会総会・学術集会における女性登用の推移～指定演者	10
5. 学会総会・学術集会における女性登用の推移～座長	11
6. 学会総会・学術集会における託児所設置の有無	12
7. 女性医師支援や男女共同参画推進に関する内部組織やアクションプラン	13
8. 学会の Web 開催併用の有無	14
III. アンケート用紙	15

I. 令和 2 年度日本耳鼻咽喉科学会・関連する学会における「男女共同参画」に関するアンケート調査結果の解説

男女共同参画委員会
担当理事 阪上 雅史
委員長 小林 一女

日本耳鼻咽喉科学会は、平成 26 年度より総務部に「男女共同参画委員会」を設置し、男女共同参画へ向けての積極的な取り組みを行っている。男女共同参画委員会では、平成 26 年、28 年、30 年度に日本耳鼻咽喉科学会と関連する学会へのアンケート調査を行い、これらにおける女性医師数と、指導的地位への登用の割合、基盤整備の状況を調査している。令和 2 年度に 4 回目のアンケート調査を行った。概略は以下の通りである。

1. 対象・調査方法

日本耳鼻咽喉科学会ならびに関連する学会の事務局へ、令和 2 年 12 月に電子メールにてアンケート用紙を送付し、回答を得た。回答率は 100%であった。

2. 調査結果の分析

① 日本耳鼻咽喉科学会と関連する学会における会員の女性比率

日本耳鼻咽喉科学会の女性比率は、耳鼻咽喉科医の女性比率を直接反映するもので、令和 2 年は 23.8%であった。日本耳科学会、日本聴覚医学会、日本めまい平衡医学会、日本音声言語医学会は 20%を超えていた。この傾向に過去の調査と変化はなかった。これまで頭頸部外科系の学会では 10%前半と低いものの、日本頭頸部癌学会、日本頭頸部外科学会は第 1 回目のアンケート(2014 年度、平成 26 年度)から 3%以上の伸びが見られた。

② 日本耳鼻咽喉科学会と関連する学会における役員数と女性比率

今回調査で得られた女性役員比率は平均 5.0%であり、平成 26 年度 4.1%、平成 28 年度 4.9%、平成 30 年度 3.8%と減少していたが、やや持ち直している。しかしながら女性医師の指導的地位への参画は未だ十分とは言えない状況である。

③ 役員選出における女性登用へのポジティブアクション

17 学会中、ポジティブアクションあり、あるいは導入予定・検討中との回答は平成 28 年 35%、平成 30 年 44%であったが、今回令和 2 年の第 4 回アンケートでは 70.6%と激増している。それに対して実際の役員数は微増であった。ゴール・アンド・タイムテーブル方式やクォータ制といった男女共同参画への具体的方策がとられることが望まれる一方、「女性理事枠の設置」(2 学会)、「女性枠を作るのではなく適任であれば何人でも」、「候補者に積極的に立候補して頂くよう個別に声かけしている」等、少しずつではあるがポジティブアクションが認められている。

④ 学会総会・学術集会の指定演者・座長への女性登用比率

平均で見ると、指定演者総数に対する女性登用比率は 11.4%、座長医師総数に対する女性登用比率は 7.1%であり、平成 30 年度調査の指定演者 11.5%と同等、座長 6.0 %に比し微増であった。平成 30 年度に比し、指定演者については約半数の学会は女性登用比率が増加しているものの約半数の学会で減少していた。また、座長については多くの学会において女性登用比率が増加していた。

⑤ 学会総会・学術集会における託児所設置

令和 2 年度には平成 30 年度に託児所設置がされていなかった 2 学会での設置が実現された。経時的にみると 17 学会における託児所設置率は、平成 26 年度、平成 28 年度、平成 30 年度、令和 2 年度にそれぞれ 41.2%、64.7%、76.5%、82.4%と増加しており、環境整備への理解が進んできたことが確認された。経時的に託児所を設置する学会が 2 つの学会ではまだ設置がないが、引き続き託児所設置の検討をお願いしたい。

⑥ 学会内における女性医師支援や男女共同参画推進に関するアクションプランの有無

平成 26 年調査時は、ありと回答した学会が 17.6%、平成 28 年調査では 35.3%、平成 30 年調査では 29.4%で減少していたが、検討中の学会が 8 学会 47%と半数を占めていた。令和 2 年度アンケートでは、ありと回答した学会は 17 学会中 10 学会 58.8%とさらに増加した。男女共同参画委員会の設置や女性医師支援セミナーの開催など、基盤整備は進みつつあるが、さらに実現することが望まれる。

自由コメント欄より

- ・男女共同参画委員会の設置 (3 学会)
- ・各種委員会、WG への女性医師の積極的な登用
- ・学術集会における男女共同参画企画
- ・女性医師が多く活躍しているため、今年度より男女共同参画委員会をダイバーシティ委員会とし、男女のみではなく各診療科や医療職とも横断的に交流、医療の推進ができるような活動を行うことにした。

など。

⑦ 2020 年度の Web 開催の併用の有無

2020 年度に開催された 15 学会のうち、13 学会 86.7%において Web 開催の併用が行われた。4 学会において Web 参加医師総数に占める女性医師比率と現地参加医師総数に占める女性医師比率が確認できた。その 4 学会における現地参加女性医師比に対する Web 参加の女性医師比率は、それぞれ 128.2%、174.4%、119.0%、446.5%であり、4 学会いずれも Web 開催における女性医師参加比率は現地参加のそれに比較し高かった。Web 開催が女性医師の学会参加推進に寄与している可能性が示唆された。Web を用いたりリモートワークの拡充は学会参加だけでなく、講習会の単位取得、役員会・委員会への参加など様々な場面において女性の積極的な学会活動への参加に寄与するものと考えられた。

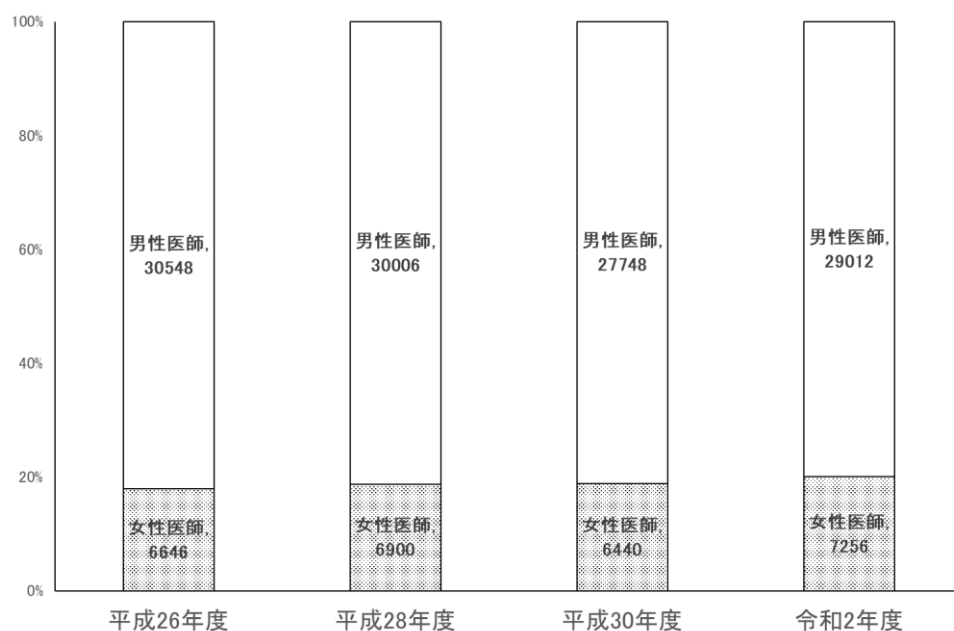
最後に今回のアンケート調査にご協力をいただいた日本耳鼻咽喉科学会と関連する学会の会長・理事長、事務局の各位に深く感謝申し上げます。この調査は、隔年に行われ、今回で 4 回目となりました。今後更なる男女共同参画を推進する上で本データをお役立ていただければ幸いです。次回の調査におきましても、今回同様のご協力をお願い申し上げますとともに、よりよい男女共同参画の実現を目指して、本委員会への具体的な提言をお待ちしております。

Ⅱ. 調査結果（表内の黄色枠は平均以上を示す）

1. 日本耳鼻咽喉科学会と関連する学会の医師会員数，女性医師比率の推移

学会名	平成26年度			平成28年度			平成30年度			令和2年度		
	医師 総数	女性 医師数	女性比 (%)	医師 総数	女性 医師数	女性比 (%)	医師 総数	女性 医師数	女性比 (%)	医師 総数	女性 医師数	女性比 (%)
日本耳鼻咽喉科学会	10,743	2,387	22.2	10,808	2,467	22.8	10,908	2,554	23.4	11,033	2,631	23.8
日本聴覚医学会	1,694	355	21.0	1,622	361	22.3	1,640	371	22.6	1,547	373	24.1
日本めまい平衡医学会	1,470	90	6.1	1,690	343	20.3	1,750	366	20.9	1,778	374	21.0
日本耳科学会	2,902	577	19.9	2,840	582	20.5	2,733	567	20.7	2,637	553	21.0
日本鼻科学会	1,965	333	16.9	1,939	348	17.9	1,933	344	17.8	1,863	340	18.3
日本気管食道科学会	3,132	347	11.1	3,009	365	12.1	2,807	367	13.1	2,626	348	13.3
日本頭頸部癌学会	3,207	371	11.6	2,080	218	10.5	2,121	240	11.3	2,003	328	16.4
日本音声言語医学会	522	106	20.3	532	99	18.6	581	117	20.1	547	110	20.1
日本顔面神経学会	466	55	11.8	494	56	11.3	472	50	10.6	425	47	11.1
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会 ¹⁾	623	119	19.1	604	108	17.9	634	119	18.8	1,094	198	18.1
日本小児耳鼻咽喉科学会	1,135	305	26.9	1,138	299	26.3				664	191	28.8
耳鼻咽喉科臨床学会	3,534	800	22.6	4,377	838	19.1	4,355	818	18.8	4,212	827	19.6
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会	732	94	12.8	759	113	14.9	764	108	14.1	739	120	16.2
日本口腔・咽頭科学会	1,357	229	16.9	1,350	237	17.6	1,288	237	18.4	1,182	208	17.6
日本喉頭科学会	955	103	10.8	974	103	10.6	1,029	123	12.0	959	127	13.2
日本頭頸部外科学会	1,801	227	12.6	1,825	236	12.9	1,914	262	13.7	2,034	317	15.6
日本嚥下医学会	956	148	15.5	865	127	14.7	899	168	18.7	925	164	17.7
合計	37,194	6,646	17.9	36,906	6,900	18.7	34,188	6,440	18.8	36,268	7,256	20.0

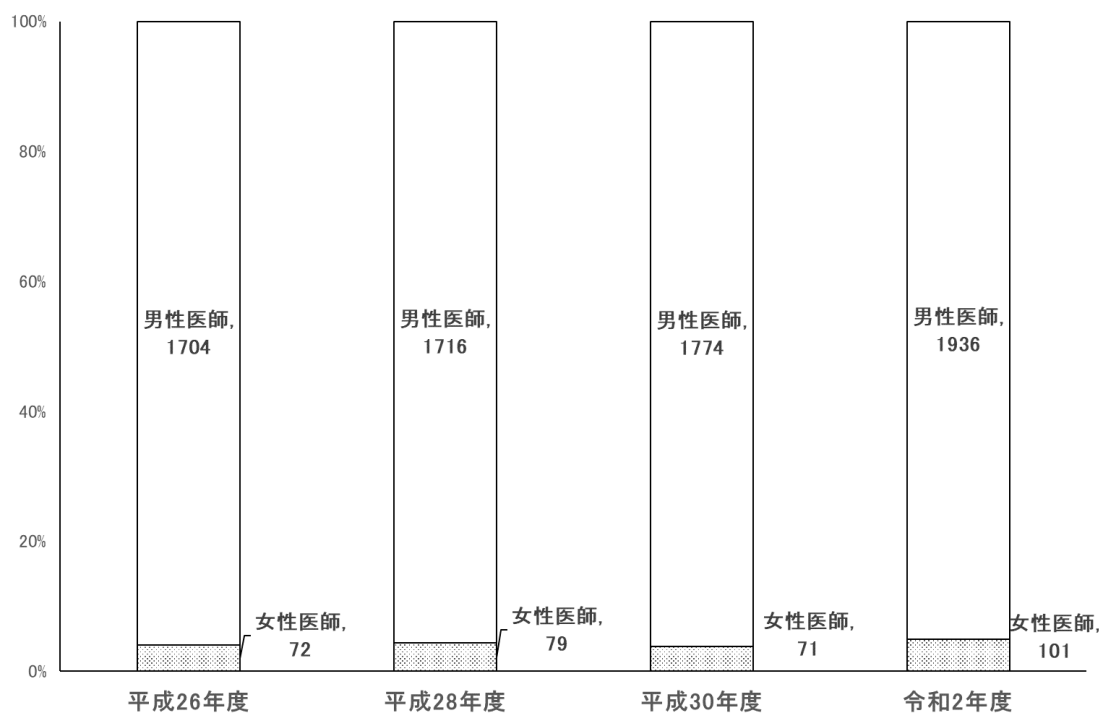
1) 平成30年度まで日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会、令和2年度から日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会



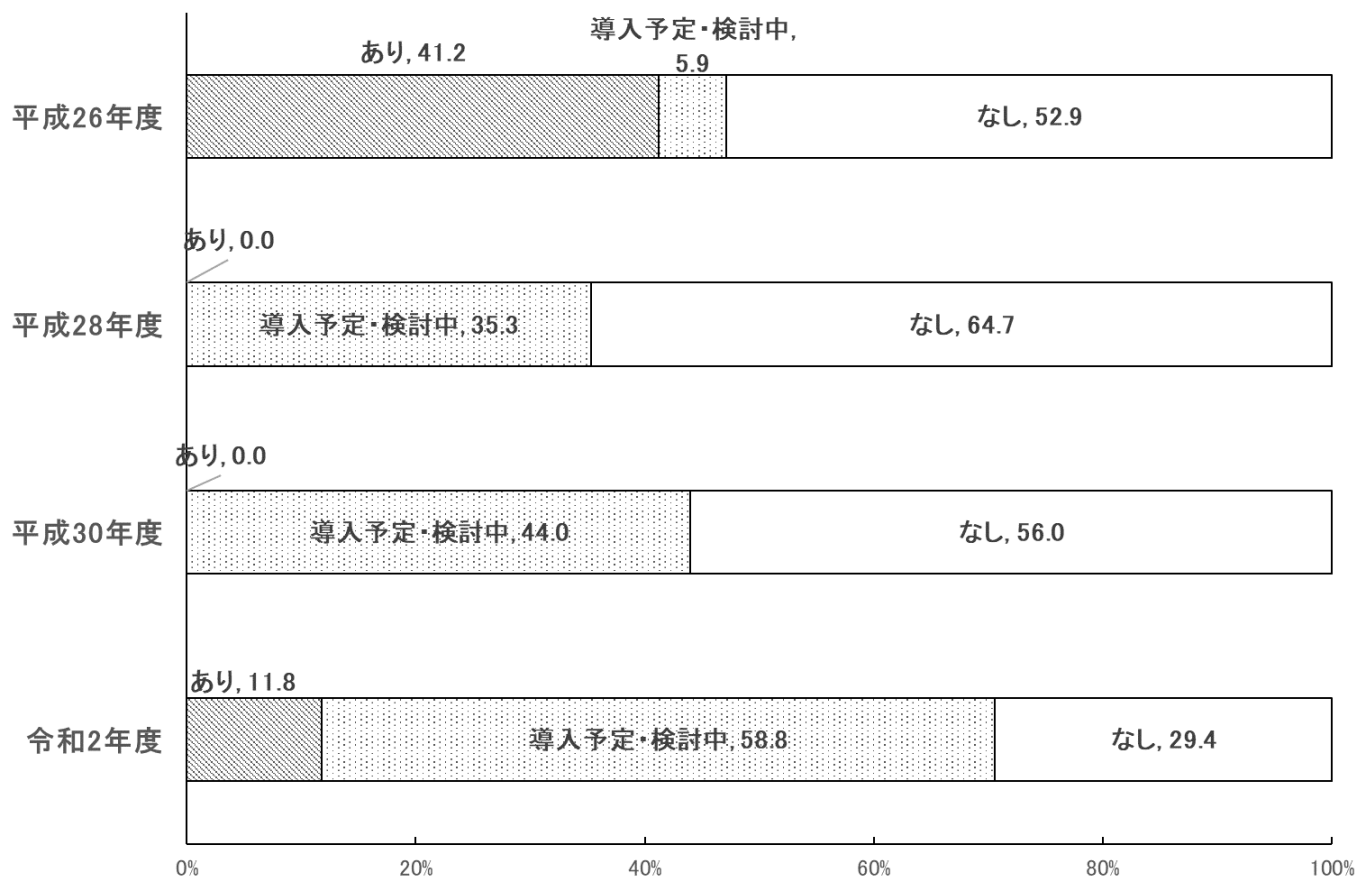
2. 耳鼻咽喉科学会と関連する学会における役員数と女性比率

学会名	平成26年度			平成28年度			平成30年度			令和2年度		
	役員 医師数	女性役 員数	女性比 (%)	役員 医師数	女性役 員数	女性比 (%)	役員 医師数	女性役 員数	女性比 (%)	役員 医師数	女性役 員数	女性比 (%)
日本耳鼻咽喉科学会	288	10	3.5	293	11	3.8	296	10	3.4	315	15	4.8
日本聴覚医学会	47	6	12.8	49	6	12.2	59	8	13.6	58	9	15.5
日本めまい平衡医学会	77	5	6.5	68	6	8.8	72	6	8.3	87	7	8.0
日本耳科学会	84	6	7.1	84	6	7.1	84	6	7.1	93	7	7.5
日本鼻科学会	74	2	2.7	77	2	2.6	79	2	2.5	91	3	3.3
日本気管食道科学会	183	3	1.6	133	7	5.3	177	7	4.0	172	5	2.9
日本頭頸部癌学会	142	0	0.0	126	0	0.0	184	1	0.5	158	2	1.3
日本音声言語医学会	51	2	3.9	57	3	5.3	57	3	5.3	68	4	5.9
日本顔面神経学会	62	0	0.0	78	2	2.6	77	1	1.3	84	1	1.2
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会 ¹⁾	132	8	6.1	139	7	5.0	124	7	5.6	133	8	6.0
日本小児耳鼻咽喉科学会	63	15	23.8	91	17	18.7	85	16	18.8	95	19	20.0
耳鼻咽喉科臨床学会	65	1	1.5	84	1	1.2	81	1	1.2	97	0	0.0
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会	79	2	2.5	81	2	2.5	90	0	0.0	107	4	3.7
日本口腔・咽頭科学会	95	3	3.2	94	1	1.1	83	1	1.2	105	2	1.9
日本喉頭科学会	105	4	3.8	100	3	3.0	108	3	2.8	102	3	2.9
日本頭頸部外科学会	109	2	1.8	104	1	1.0	108	2	1.9	115	5	4.3
日本嚥下医学会	120	3	2.5	137	4	2.9	140	5	3.6	157	7	4.5
合計	1776	72	4.1	1795	79	4.4	1845	71	3.8	2037	101	5.0

1) 平成30年度まで日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会、令和2年度から日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会



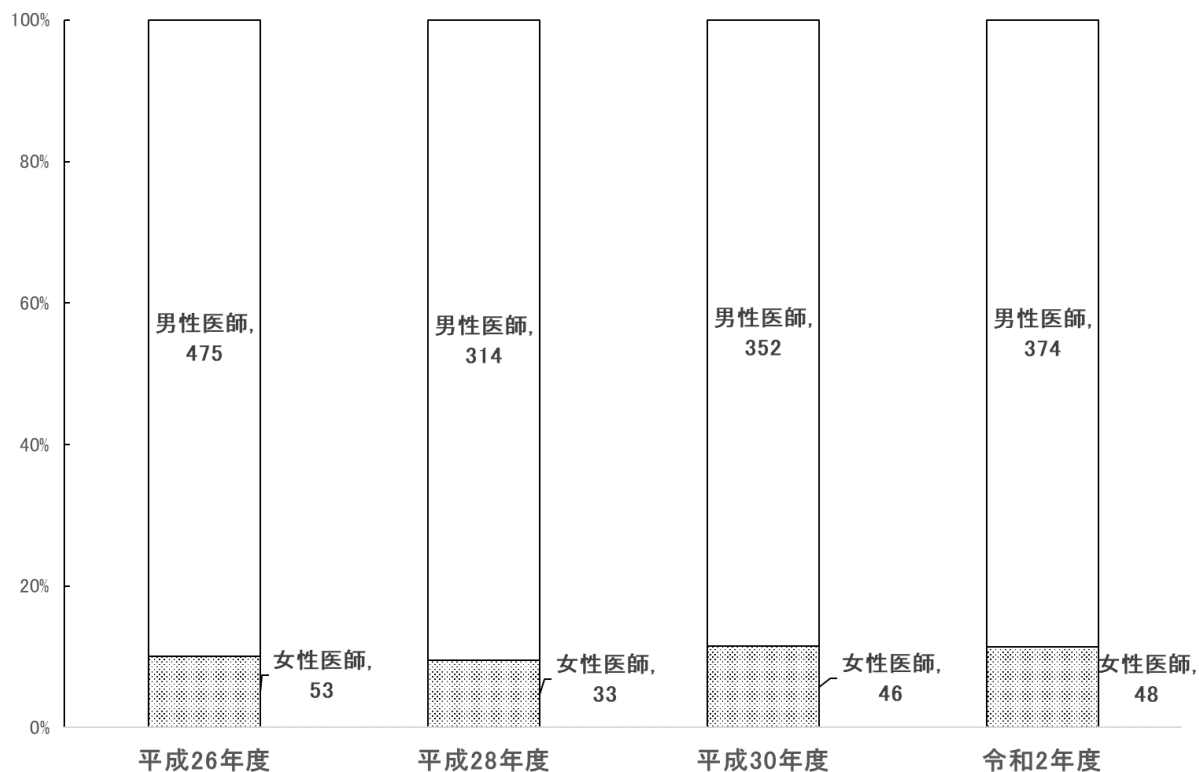
3. 役員選出に関する、クォータ制（割当制）等の女性医師登用へのポジティブアクションの有無



4. 学会総会・学術集会における女性登用の推移～指定演者

学会	平成26年度			平成28年度			平成30年度			令和2年度		
	指定演者 総数	演者 女性数	女性比 (%)	指定演者 総数	演者 女性数	女性比 (%)	指定演者 総数	演者 女性数	女性比 (%)	指定演者 総数	演者 女性数	女性比 (%)
日本耳鼻咽喉科学会	29	3	10.3	12	2	16.7	33	6	18.2	59	7	11.9
日本聴覚医学会	3	0	0.0	8	3	37.5	11	5	45.5	4	1	25.0
日本めまい平衡医学会	29	2	6.9	40	3	7.5	8	1	12.5	22	3	13.6
日本耳科学会	44	2	4.5	52	1	1.9	26	1	3.8	57	6	10.5
日本鼻科学会	36	5	13.9	43	5	11.6	22	2	9.1	73	10	13.7
日本気管食道科学会	114	7	6.1	29	2	6.9	111	8	7.2			
日本頭頸部癌学会	58	3	5.2	35	3	8.6	39	2	5.1	47	1	2.1
日本音声言語医学会	23	10	43.5	10	1	10.0	8	0	0.0	15	2	13.3
日本顔面神経学会	15	4	26.7	23	3	13.0	32	3	9.4	22	1	4.5
日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会 ¹⁾	17	1	5.9	3	0	0.0	9	2	22.2			
日本小児耳鼻咽喉科学会	12	1	8.3	8	0	0.0	11	3	27.3	16	5	31.3
耳鼻咽喉科臨床学会	17	1	5.9	10	0	0.0	15	5	33.3	22	3	13.6
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会	11	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	20	0	0.0
日本口腔・咽頭科学会	47	6	12.8	33	1	3.0	27	0	0.0	31	5	16.1
日本喉頭科学会	19	2	10.5	17	4	23.5	20	4	20.0	11	4	36.4
日本頭頸部外科学会	35	1	2.9	16	5	31.3	8	0	0.0	23	0	0.0
日本嚥下医学会	19	5	26.3	8	0	0.0	18	4	22.2	0	0	0.0
合計	528	53	10.0	347	33	9.5	398	46	11.6	422	48	11.4

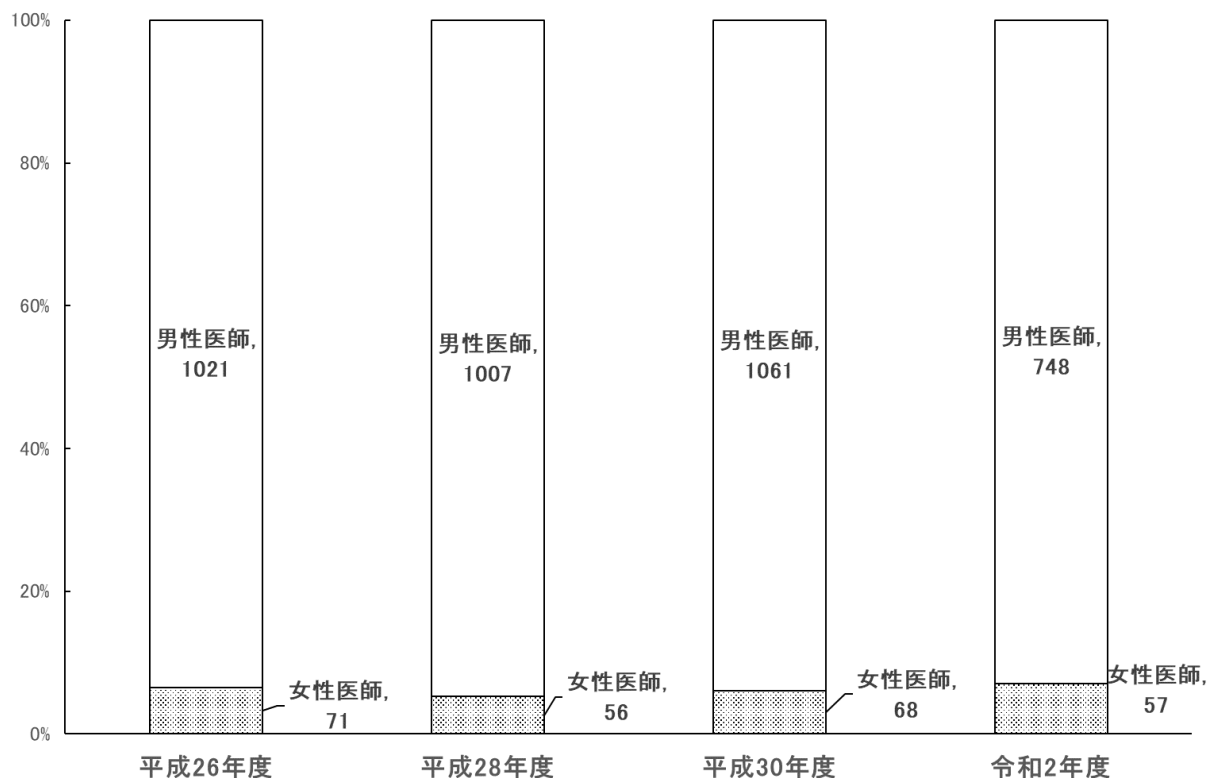
1) 平成30年度まで日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会、令和2年度から日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会



5. 学術総会・学術集会における女性登用の推移～座長

学会	平成26年度			平成28年度			平成30年度			令和2年度		
	座長医師 総数	座長女性 医師数	女性比 (%)	座長医師 総数	座長女性 医師数	女性比 (%)	座長医師 総数	座長女性 医師数	女性比 (%)	座長医師 総数	座長女性 医師数	女性比 (%)
日本耳鼻咽喉科学会	153	7	4.6	154	7	4.5	130	4	3.1	132	7	5.3
日本聴覚医学会	43	5	11.6	39	7	17.9	45	8	17.8	39	9	23.1
日本めまい平衡医学会	37	2	5.4	49	6	12.2	54	4	7.4	56	7	12.5
日本耳科学会	120	6	5.0	64	2	3.1	119	13	10.9	103	12	11.7
日本鼻科学会	51	3	5.9	107	5	4.7	58	1	1.7	77	2	2.6
日本気管食道科学会	70	4	5.7	51	3	5.9	95	3	3.2			
日本頭頸部癌学会	70	1	1.4	53	0	0.0	72	0	0.0	19	0	0.0
日本音声言語医学会	82	22	26.8	13	0	0.0	47	11	23.4	17	0	0.0
日本顔面神経学会	26	0	0.0	37	1	2.7	35	0	0.0	16	0	0.0
日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会 ¹⁾	16	2	12.5	32	5	15.6	35	1	2.9			
日本小児耳鼻咽喉科学会	35	7	20.0	49	9	18.4	36	6	16.7	23	5	21.7
耳鼻咽喉科臨床学会	97	1	1.0	118	2	1.7	96	4	4.2	93	4	4.3
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会	45	1	2.2	32	1	3.1	42	2	4.8	4	0	0.0
日本口腔・咽頭科学会	40	2	5.0	67	2	3.0	60	4	6.7	39	2	5.1
日本喉頭科学会	69	1	1.4	47	1	2.1	66	5	7.6	28	1	3.6
日本頭頸部外科学会	112	4	3.6	112	2	1.8	98	1	1.0	152	5	3.3
日本嚥下医学会	26	3	11.5	39	3	7.7	41	1	2.4	7	3	42.9
合計	1092	71	6.5	1063	56	5.3	1129	68	6.0	805	57	7.1

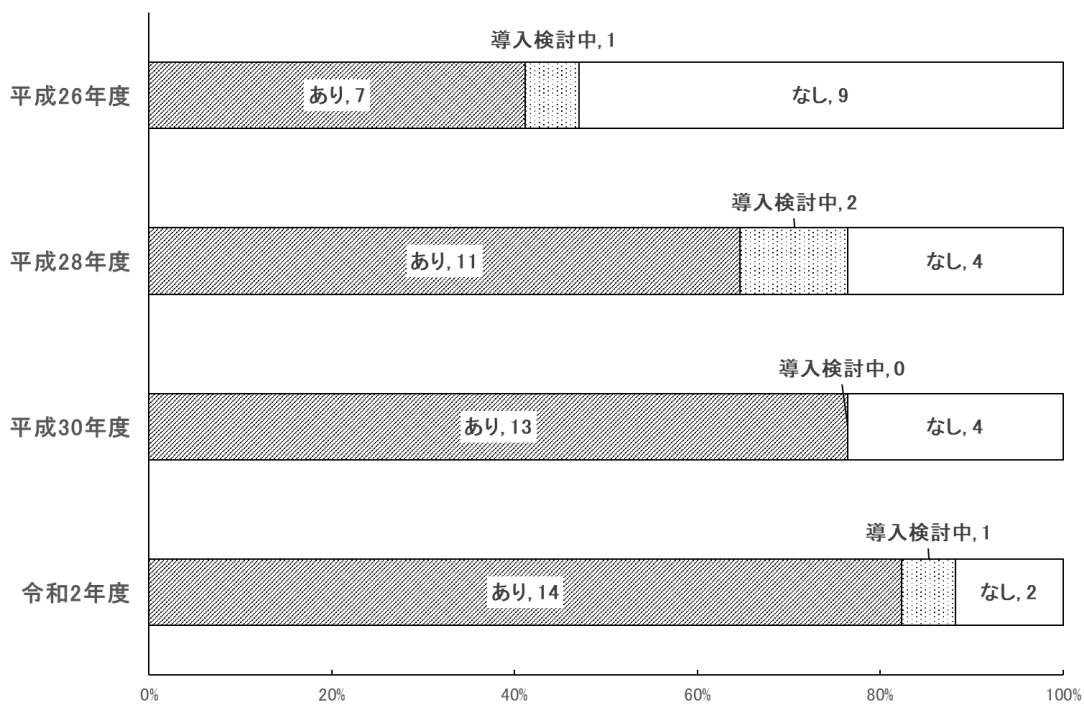
1) 平成30年度まで日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会、令和2年度から日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会



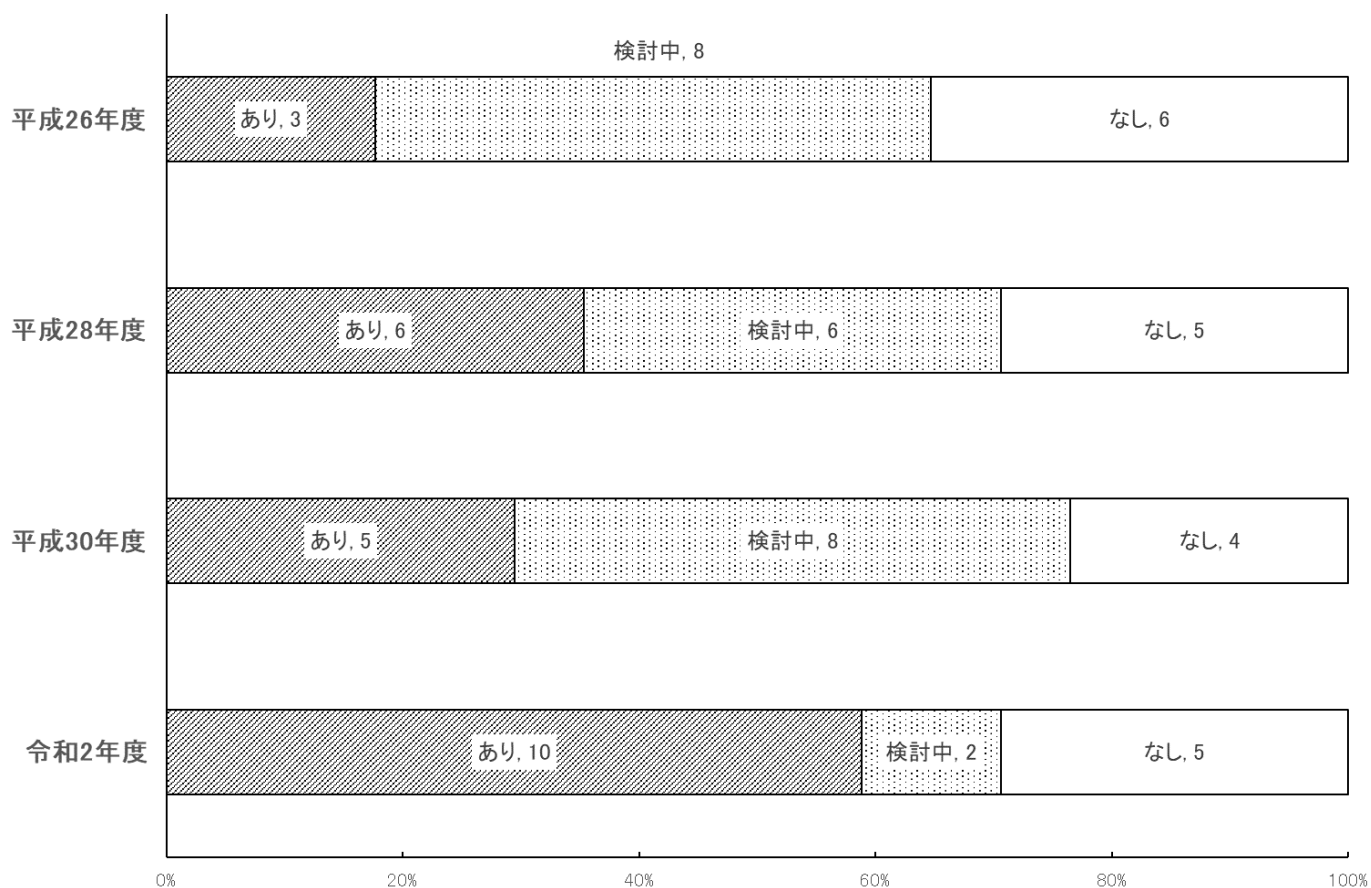
6. 学会総会・学術集会における託児所設置の有無

学会	平成26年度			平成28年度			平成30年度			令和2年度		
	あり	導入 検討中	なし	あり	導入 検討中	なし	あり	導入 検討中	なし	あり	導入 検討中	なし
日本耳鼻咽喉科学会	○			○			○			○		
日本聴覚医学会	○			○			○			○		
日本めまい平衡医学会	○			○			○			○		
日本耳科学会	○			○			○			○		
日本鼻科学会			○	○			○			○		
日本気管食道科学会			○	○			○			○		
日本頭頸部癌学会			○			○			○	○		
日本音声言語医学会	○			○			○			○		
日本顔面神経学会			○			○			○			○
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会 ¹⁾			○	○			○				○	
日本小児耳鼻咽喉科学会	○			○			○			○		
耳鼻咽喉科臨床学会	○			○			○			○		
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会			○	○			○			○		
日本口腔・咽頭科学会			○			○			○			○
日本喉頭科学会			○		○		○			○		
日本頭頸部外科学会			○			○			○	○		
日本嚥下医学会		○			○		○			○		
合計	7	1	9	11	2	4	13	0	4	14	1	2

1) 平成30年度まで日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会、令和2年度から日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会



7. 女性医師支援や男女共同参画推進に関する内部組織やアクションプラン



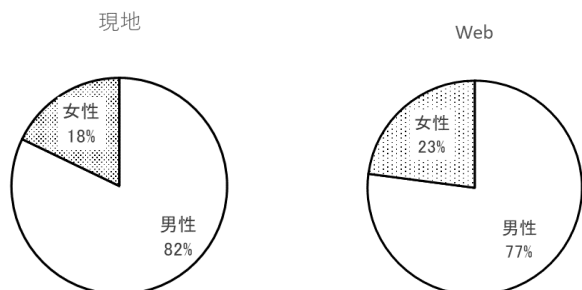
- 平成 26 年調査時は、ありと回答した学会が 17.6%、平成 28 年調査では 35.3%、平成 30 年調査では 29.4%で減少していたが、検討中の学会が 8 学会 47%と半数を占めていた。令和 2 年度アンケートでは、ありと回答した学会は 17 学会中 10 学会 58.8%とさらに増加した。

8. 学会の Web 開催併用の有無

Web開催	あり	なし
学会数 (%)	13 (58.8%)	2 (11.8%)

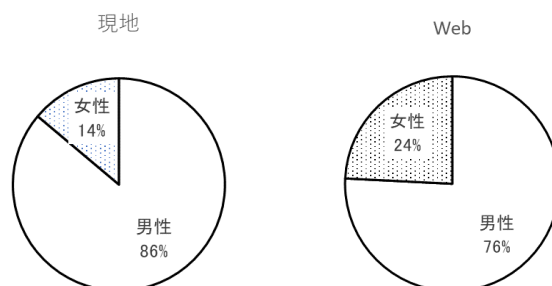
※：Web 参加の女性医師比／現地参加女性医師比

●日本耳科学会



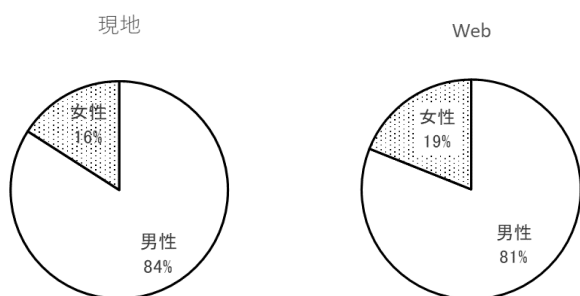
※：128.2%

●日本鼻科学会



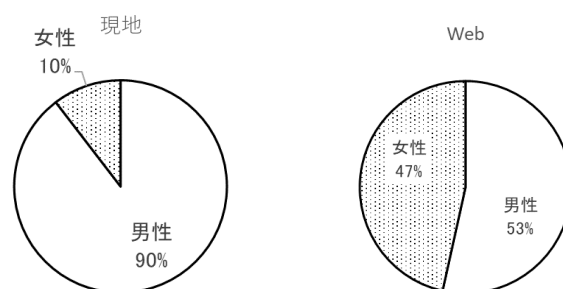
※：174.4%

●日本顔面神経学会



※：119.0%

●日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会



※：446.5%

- 4 学会において Web 参加医師総数中の女性医師比率と現地参加医師総数中の女性医師参加比率が確認できた。
- 4 学会における現地参加女性医師比に対する Web 参加の女性医師比率(※)はそれぞれ 128.2%, 174.4%, 119.0%, 446.5%であり、4 学会いずれも Web 開催における女性医師参加比率は現地参加に比較し高かった。

Ⅲ. アンケート用紙

令和 2 年 11 月 27 日

日耳鼻・関連する学会
理事長 殿

一般社団法人 日本耳鼻咽喉科学会
理事長 村上 信五
男女共同参画委員会
担当理事 阪上 雅史
委員長 小林 一女

「男女共同参画」に関するアンケート調査へのご協力をお願い

女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）が平成 27 年 8 月 28 日に国会で成立しました。これにより、働く場面で活躍したいという希望を持つすべての女性が、その個性と能力を十分に発揮できる社会を実現するために、女性の活躍推進に向けた数値目標を盛り込んだ行動計画の策定・公表や、女性の職業選択に資する情報の公表が事業主（国や地方公共団体、民間企業等）に義務付けられています。

さらに、平成 27 年日本政府は「一億総活躍社会」を目標に掲げ、同年 12 月に閣議決定された第 4 次男女共同参画基本計画では、「研究機関、大学、企業等における女性研究者・技術者の採用促進等、科学技術・学術分野における政策・方針決定過程への女性の参画拡大」「女性医師の仕事と生活の両立や、離職・休職した女性医師の復職を通じた、医療機関、学術団体、職能団体等の関係団体における政策・方針決定過程への女性の参画拡大」を具体的な取り組みとして掲げています。また、平成 29 年より「働き方改革実行計画」が推進され、その目的として「少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少」「育児や介護との両立など、働く方のニーズの多様化」などの状況に直面している我が国において、就業機会の拡大や意欲・能力を存分に発揮できる環境を作ることを示しています。

日本耳鼻咽喉科学会男女共同参画委員会では、平成 26、28、30 年度に関連する学会に男女共同参画に関するアンケートを依頼し、各学会への役員選出に対するポジティブアクションの導入や学会総会・学術集会の指定演者・座長への女性登用比率などを調査いたしました。その結果、多くの学会では、女性会員比率に比較して女性医師の指導的地位への参画は未だ十分ではないという状況が判明しています。日本耳鼻咽喉科学会の 10 年間の新入会員に占める女性医師の割合は 30%前後で推移しており、男女共同参画は耳鼻咽喉科医療水準の維持のために、耳鼻咽喉科医全体として取り組むべき課題であると考えます。

そこで 2 年の月日を経て、日本耳鼻咽喉科学会の関連する学会に前回同様の「男女共同参画」に関するアンケートへのご協力をお願いし、各学会における「男女共同参画」の進捗状況を調査することになりました。本調査結果は、日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会で口頭発表し、男女共同

参画委員会 HP で公開するほか、本委員会でのアクションプラン作成の参考とさせていただきます。

ご多忙の折、誠に申し訳ございませんが、ご回答いただきましたアンケートを令和 2 年 12 月 25 日（金）までにメール添付でご返信ください。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

連絡先：日本耳鼻咽喉科学会事務局
男女共同参画委員会 事務担当 浅野妙子
〒108-0074 東京都港区高輪 3-25-22
TEL: 03-3443-3085 FAX: 03-3443-3037
Email: fukushi@jibika.or.jp

「男女共同参画」に関するアンケートR2（一般社団法人 日本耳鼻咽喉科学会 男女共同参画委員会）

貴学会名

問1. 貴学会員のうち医師数と女性医師数についてお答えください。

学会員数

 名

医師数

 名

うち女性医師

 名

問2. 貴学会の役員、評議員（代議員）数についてお答えください。

	人数		（うち女性の人数）		医師数		（うち女性医師数）	
会長（理事長）	<input style="width: 40px;" type="text"/>	名	<input style="width: 40px;" type="text"/>	名	<input style="width: 40px;" type="text"/>	名	<input style="width: 40px;" type="text"/>	名
副会長（副理事長）	<input style="width: 40px;" type="text"/>	名	<input style="width: 40px;" type="text"/>	名	<input style="width: 40px;" type="text"/>	名	<input style="width: 40px;" type="text"/>	名
理事	<input style="width: 40px;" type="text"/>	名	<input style="width: 40px;" type="text"/>	名	<input style="width: 40px;" type="text"/>	名	<input style="width: 40px;" type="text"/>	名
評議員（代議員）	<input style="width: 40px;" type="text"/>	名	<input style="width: 40px;" type="text"/>	名	<input style="width: 40px;" type="text"/>	名	<input style="width: 40px;" type="text"/>	名

問3. 貴学会の役員、評議員（代議員）選出に関して、クォータ制（割当制）等、女性医師登用へのポジティブアクションはございますか。（いずれかに☑をおつけください。）

有り（内容： _____ ）

→例：女性理事枠〇名など

導入予定または検討中

無し（理由： _____ ）

問4. 本年度の貴学会総会・学術講演会におけるシンポジスト・パネリスト・座長の人数をお答えください。

	人数(医師数)		うち女性の人数(女性医師数)	
シンポジスト	<input style="width: 40px;" type="text"/>	名	<input style="width: 40px;" type="text"/>	名
パネリスト	<input style="width: 40px;" type="text"/>	名	<input style="width: 40px;" type="text"/>	名
座長	<input style="width: 40px;" type="text"/>	名	<input style="width: 40px;" type="text"/>	名

問5. 学会総会・学術講演会等に託児所を設置したことはありますか。（いずれかに☑をおつけください。）

有り

無し

設置予定または検討中

問6. 貴学会内に女性医師支援や男女共同参画推進に関する内部組織やアクションプランはございますか。
(いずれかに☑印をおつけください。)

有り (内容: _____)

→例: 男女共同参画委員会の設置、学術集会における女性医師支援、男女同参画パネルの企画など

無し

検討中

問7. コロナ禍で、Web開催を併用されましたか？

Web開催無し

Web開催有り

「有り」とお答えの場合、参加数の内訳を下記にご記入ください。

令和2年度

	参加人数(医師数)		うち女性の人数(女性医師数)	
		名		名
参加総数		名		名
現地参加		名		名
Web参加のみ		名		名

令和元年度

	参加人数(医師数)		うち女性の人数(女性医師数)	
		名		名
参加総数		名		名

ご協力ありがとうございました。以上でアンケートは終了です。なお、本調査に関わらず、日本耳鼻咽喉科学会男女共同参画委員会へのご意見やご要望等がございましたら、ご入力をお願い申し上げます。

自由記載: